

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 将来をみすえ、自ら学習できる子							堺市立 福田 小学校 校長 嶺村 労
------------------------------------	--	--	--	--	--	--	-----------------------

令和7年度 重点目標

学校教育目標である「自らを大切にするとともに、周りの人々も大切にできる福田っ子を育成すること」を教職員が常に意識し、「○よく考える子 ○みんなと助け合う子 ○明るく元気な子 ○やさしく思いやりのある子」育成に向けた、令和7年度の重点目標を「主体的な学びの創造・チャレンジ＆エンジン」サブテーマ「～主体的に学ぶスタイルの探求～」とした。実現を図るため、学びのコンパスに基づき主体的・協働的な学びの充実をめざす。人権尊重を基盤とした教育活動の展開と、組織的な生徒指導体制の構築を促進する。東中校区における育てたい18歳の成人像を泉ヶ丘東中学校・福田小学校・東陶器小学校・西陶器小学校と共に、幼小中接続事業を継続深化する。そのため公立私立を問わず子ども園・幼稚園・保育園等との日常的な交流もすすめる。

「確かな学びの現状」

- ・国語、算数、理科等の各種学力調査の結果を目標値との比較から分析した結果から概観すると、知識・技能や思考判断表現について一定の課題がある。
- ・思考判断表現よりも、知識・技能について課題が大きい結果となっており、学びに向かう力を引き出し、基礎基本の反復練習に耐える自信や粘り強さ、家庭とも連携した家庭学習も含めた学習習慣のテコ入れが必要である。
- ・学びのコンパスや埠版授業スタンダードを基本としながら、基礎基本の確実な定着に向けた丁寧な取り組みを家庭との連携をもとに進める。

豊かな心・健やかな体の現状

- ・各種学習生活状況調査の結果を平均値等との比較から概観すると、学びに向かう力や規律ある態度について一定の課題がある。
- ・総合的な学力育成や心身両面での健全育成に不可欠である、社会性や生活感豊かな地域教材や地域協働の基盤には恵まれている。
- ・引き続き、郷土を知り、郷土で育ち、郷土に誇りをもてる子どもの育成に努めたい。
- ・普段の子どもたちの生活の様子を見ていると、挨拶ができたり時間や気持ちの切り替えが見られたりすることもあり、自信や自己肯定感を引き出す指導を教職員ができるよう、教職員の心のゆとりづくりや、授業づくりの時間確保が重要である。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	主担当	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)	
									自己評価	学校関係者評価
基礎・基本の定着	読む・書く・計算する力を継続的に育成する。		朝読書(水)や図書室活動、並行読書、家庭読書等の取り組みで読書量を増やす。	「毎日読書30分以上」50%以上 「家で週3日以上読書する」55%以上	学校アンケート	年度末	澤近	◎	児童の読書量を増やすため に、図書委員による読み聞かせや読書ピッコ、先生方のおすすめ本の紹介など、読書に親しめる取り組みを進めた。	
			読書活動や自主学習、セット宿題等、家庭学習の充実で学習習慣の定着を図る。 ★自主学習ノートの活用	「毎日宿題をする」が90%以上 自主学習ノート80%以上	学校アンケート	年度末	清水	○	国語や算数の学習の宿題、読書や自主学習など、家庭学習を設定し、学習習慣の定着を図っている。	
			学校での朝学習(火・木・金)で漢字や計算などを繰り返し行い基礎学力の向上を行う。	定着テストの知・技の正答率が国語80%以上算数80%以上	定着テスト 学力テスト すぐすぐテスト	年度末	清水	○	学校での朝学習に取り組み、漢字や計算などを繰り返し行い、基礎学力の定着に取り組んでいる。	
確かな学び	授業改善・指導力の向上		●全学年が研究授業を行い、全教職員で参観・事後検討会をすることで、授業力改善に努める。	研究授業・授業参観	実践報告	年度末	教頭	◎	全学年による研究授業は計画的に行われており、事後検討会も授業改善に向け、積極的な意見交換がなされている。	
			自分の考えを書いたり伝えたりする場面を多く取り入れ、学習過程がわかるノートづくりに取り組む。	アンケート項目「授業ではノートに自分の考えを書く活動がある」で肯定評価80%以上	アンケート	年度末	山口	◎	授業で、自分の考えを書いたり、伝えたりする場面を多くつくり、学習過程がわかるノートづくりに取り組んでいる。	
			学びのコンパス・埠版授業スタンダードに基づき、子どもがよく考え、わかる授業を展開する。	学校の単元テストの思・判・表の正答率が国語73%以上算数73%以上	単元テスト 学力テスト すぐすぐテスト等	年度末	山口	○	学びのコンパス・埠版授業スタンダードに基づき、子どもがよく考え、わかる授業を意識している。	
	学びに向かう力・人間性等		・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする活動に取り組む。 ・自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組む。 ・総合的な学習の時間や自主学習などでは、自分の興味・関心から学習の内容を自分で考える場を設定する。 ・学習したことを普段の生活で使う場面がないか考えられるようにする。	・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする活動に取り組んでいる。(学年43番) ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。(学年45番) ・総合的な学習の時間や自主学習などでは、自分の興味・関心から学習の内を自分で考えている。(CBT22番) ・学習したことを普段の生活で使う場面がないか考えている。(CBT25番)	CBT・学年及び 学校アンケート	年度末	山口	◎	各教科の授業や総合的な学習の時間を通して子どもたちが主体的に活動できるように、単元・授業づくりに取り組んでいる。	
豊かな心・健やかな体	心の教育	教育活動全体を通じ人権教育を推進するとともに、自他の尊重と自尊感情を高める。	自尊感情や規範意識を醸成し、児童が安心できる学びの場をつくる。	あのねアンケートを用いていじめの早期発見に努める。	実践報告	毎学期	井野	◎	いじめアンケートとシステムを併用し、いじめの早期発見と情報共有に努めている。	
			あいさつ・もくもく清掃他(「はあともみじ」)の推進	生活目標ふりかえりアンケート各項目で肯定評価80%以上	アンケート	年度末	井野	◎	児童会による挨拶運動を続け、月毎の生活目標で意識付けており返り正在行っている。	
			教科書や「未来をひらく」を効果的・計画的に活用する中で道德教育を充実させ、児童の道徳的判断力の発達を図る。	「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」の肯定評価90%以上	学校アンケート	年度末	澤近	◎	児童の道徳的判断力を育てるために、道徳の資料を全職員に共有して授業を進めやすい環境を整えるとともに、道徳研究大会に全員で参加して道徳科の授業づくりに関する指導力の向上を図った。	
	人権教育・特別支援教育の充実を図り、やさしく思いやりのある子を育てる。		人権にかかわる項目で肯定評価85%以上	アンケート	年度末	入江	○	平和学習やにんげん学習交流会などの大きな行事が終了し、人権の問題を考えることができた。		
	体力向上		人権教育・特別支援教育の充実を図り、やさしく思いやりのある子を育てる。	アンケート項目「運動をすることや、体育の授業は好きですか。」で肯定評価82%以上	アンケート	年度末	村上	◎	学校授業・行事に加え、体育委員会が考案した体力づくり企画などを通して、一人一人の体力向上に努めている。	
			体育の授業で体つくり運動を取り入れ、多様な遊びや運動を充実させ、児童一人ひとりの運動への意欲を高め、体力づくりの習慣化を図る。(体育ノート・体育カードの活用)	体育ノートや体育カードによる児童の情意面、思考面の変容	実践報告	年度末	村上	◎	児童の発達段階に合わせた体育授業を行う中で、なわとびチャレンジカードや体育ノートの活用しながら、日々の体育活動に取り組んでいる。	
地域協働	学校情報を積極的に発信し、地域の学校として地域の力を借りながら教育活動を進める。		学校の様子を積極的に情報を発信(ホームページ・校報・学年通信など)する。	「学校は地域に情報発信を行っている」で肯定評価90%以上	アンケート	年度末	馬場	◎	行事・授業風景などをホームページで毎日発信している。	
			児童と地域とのつながりの場をつくり、地域との連携を図る。	学校が保護者・地域との連携をとるための活動	実践報告	年度末	馬場	◎	七夕やだんじりや盆刈りや相撲大会などの授業で児童と地域とのつながりの場をつくり地域と連携をはかることができた。	
			★幼小接続「東中校区幼小接続事業」★学校群・小中連携の推進	幼小中の取り組み	実践報告	年度末	中村	◎	東中校区にあるすべての学校・園がおそらく、職員全体で合同研修に取り組めた。	
校長より(年度末)								学校関係者評価者から(年度末)		